

2024(令和6)年度沖縄県若年性認知症支援推進事業
本人家族交流会 若年性認知症カフェ 報告書

若年性認知症カフェ

目的：若年性認知症カフェ内で、ご本人と介護家族の交流を深め、孤立しやすい若年性認知症のご本人と介護家族のネットワークづくりを促す。

当カフェの特性

- ・ 孤立する県内の当事者及びその支援者にピアカウンセリングの場を提供する。
参加される当事者とその家族との交流を通し、互いの不安や悩みを共有することで、安心できる居場所と仲間を作る。
- ・ 経験と技能を活かす場をめざす。交流会の場も活動の場として提供し、それぞれの活躍の場を増やすよう支援する。例：ギターや英会話などそれぞれの特技を活かした教室の開催等
- ・ カフェ内で当事者の意見を活発に頂く。施策へ反映されるよう、意見をまとめる。

1. 日時：2024年6月15日(土) 13時～15時半 定員15～20名

【会場】 新オレンジサポート室（宜野湾市普天間1-9-3）

2. 本日のプログラム ①身近な災害対策について考えよう ②交流会（近況報告）

3. 参加者数 9人（内訳：当事者1名、家族6名、専門職2名）

4. 当日の様子

前回、映画「オレンジ・ランプ」の振り返りと当事者の思いをお話して頂いた為、①のお題「身近な災害対策について考えよう」の話題に触れることが出来なかったため、今回は災害時対策についての意見交換会としました。いつも自己紹介を兼ねて、近況のお話しをして頂くのですが…介護の悩みについての情報交換が必要な場面が多く…時間を要しました。災害対策については短い時間でしたが、各市町村で“災害時避難行動要支援者登録”があること、避難場所の確認、災害時の備え等にも発言がありました。

5. 所感

成年後見人制度について等、制度利用についての話し合いが熱を帯びて交わされました。カフェの開催の前に、制度の利用したことのある家族と利用を考慮する家族とのマッチングの場を作って意見交換会をする等の工夫も行っています。同じ境遇の仲間に相談する・情報交換して手立てを知る…この話し合いが普段の自己の悩みの解決策に繋がったりするので、仲間同士のピアカウンセリングはとても重要な役割を担っていると常に感じます。今回のスイーツはシフォンケーキでした。



★次回予定：2024年7月20日（土）

以上